

北海道原水協 F A X ニュース

原水爆禁止北海道協議会 Eメール hokkaidogensuikyo@pearl.ocn.ne.jp

電話 011 (747) 7557 fax011 (747) 7537 2016年 1月13日

核兵器のない平和で公正な世界の実現を

米艦船入港問題 市民の声を聞くための「市長交渉」を申し入れる

～米艦船小樽寄港反対小樽連絡会～

1月4日に米第七艦隊の掃海艇「パトリオット」、2月にミサイル駆逐艦「ベンフォールド」があいついで小樽港に寄港する旨、小樽市に通知がありました。米艦船寄港反対小樽連絡会は12日会議を開いて、翌13日に小樽市へ要請行動をおこないました。最初に連絡会代表の佐藤勤さんが「例年のごとく雪まつりに入港、市長には商業港としてきっぱり入港反対の姿勢をつらぬいてほしい」と市長交渉を求める申し入れ書を小鷹孝一総務部長に手渡しました(写真)。

中田総務部次長から経過説明の中で、核搭載の有無について外務省から「核搭載能力がないので・・・」と例年通りの文書で回答があったと報告されました。

参加者から「戦争法が通ってアメリカは戦争する国と定着していて、市民に不安がある。市長に直接、市民の声を聞いてもらう場をつくってほしい」と強く要望が出されました。「日本の国是である非核三原則の持ち込ませない、事前協議の対象だが核密約も破棄されていない」と危惧の声。総務部長は「市長は市民の声を聞くことにスタンスを置いている。市として決して歓迎したり、好ましいものと感じているわけではない。市長にしっかり伝えます」と述べました。



北海道原水協の嶋田は「核搭載能力の有無ではなく、核保有国の軍艦が入港希望する場合は非核証明書の提出を求めてほしい。市長(＝港湾管理者)は地方自治法と港湾条例に拠ってきっぱり入港を拒否するよう」要請しました。

緊急の申し入れ・要請行動でしたが樽労連、生活と健康を守る会、平和委員会、民商、共産党、北海道原水協はじめ12名が駆けつけました。

★入港反対の f a x の集中を

小樽市長 森井 秀明様 0134 (32) 0152 市長秘書課

入港反対！ 戦争する国づくり反対！

宣伝行動 (小樽市内にて)

1月22日(金) 17時30分～

23日(土) 13時～

29日(金) 13時～

31日(日) 13時～

2月 1日(月) 17時30分～

